



ISO 39001:2012

道路交通安全マネジメントシステム

Road traffic safety (RTS) management systems

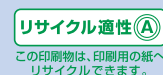


独立行政法人自動車事故対策機構

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイスト19階
TEL. 03-5608-7560(代) FAX. 03-5608-8610
安全調査室 TEL. 03-5608-7641

ホームページ <http://www.nasva.go.jp/>

●キーワード検索



2014.03.5,000

独立行政法人自動車事故対策機構

Toward Zero

～交通事故による死亡・重傷事故の撲滅をめざして～

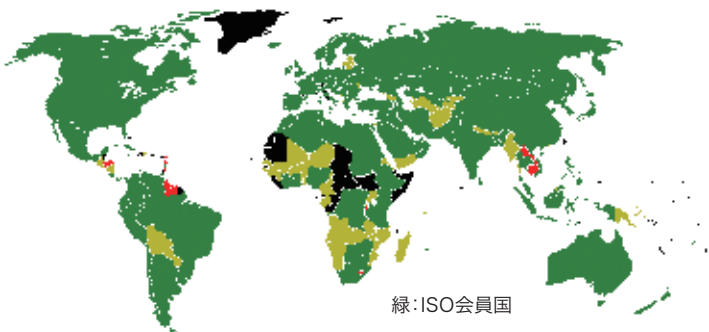
国民の安全安心と、企業の社会的責任(CSR)が強く求められる今日、企業活動や通勤などで自動車を使用する組織はもとより、自動車や道路施設の設計・製造・管理にかかわる企業など、多くの企業・団体の方々にとって自動車事故の削減と撲滅は永遠のテーマと考えます。ISO 39001は、この自動車事故の削減と撲滅という重要テーマに向けた企業のマネジメント体制に関する、初めての国際的なガイドラインです。

ISOとは?...

ISOとは、スイスのジュネーブに本部を置く「国際標準化機構」(International Organization for Standardization)の略称で、国際的な標準である国際規格を策定するための民間の非政府組織です。ISOでは、工業製品に対する規格(ねじの寸法など)ばかりでなく、組織のマネジメントに対する規格(マネジメントシステム規格)を作成しています。

全世界で通用する規格

ISOには、世界のほとんどの国々が参加しています。



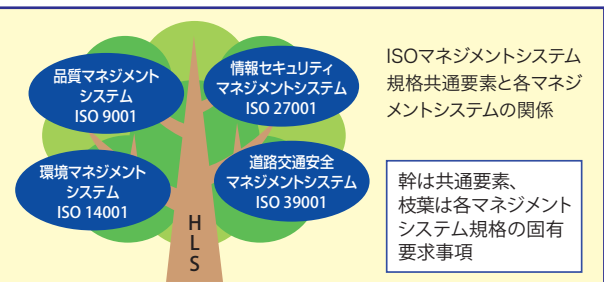
ISO 規格の大別

ISOが定める国際標準は以下のとおりです。

工業製品に対する規格	マネジメントシステム規格
■ ねじの規格 ■ 紙の寸法 ■ 非常口サイン ■ クレジットカードの形状	■ 品質マネジメントシステム (ISO 9001) ■ 環境マネジメントシステム (ISO 14001) ■ 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO 27001) ■ 道路交通安全マネジメントシステム (ISO 39001)

マネジメントシステム規格の共通化

2012年2月、ISOはすべてのマネジメントシステムに適用できる共通の構造、テキスト、用語の定義を定めました。今後、改訂される規格は、この新しい枠組を積極的に採用することになっています。ISO 39001は、いち早くこの新しい枠組(HLS=ハイレベル ストラクチャ)を採用しています。



ISO 39001とは?...

道路交通事故による死者や重傷者を撲滅することを目的とした国際規格

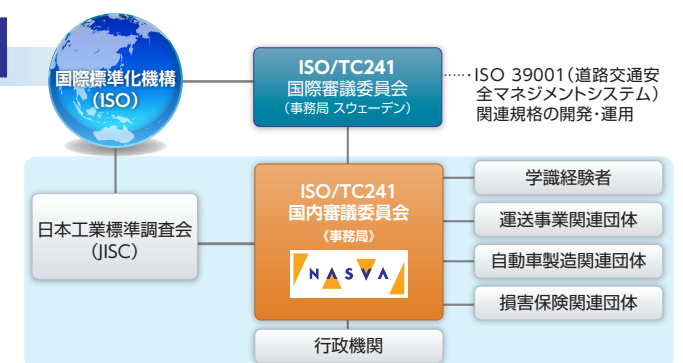
ISO 39001は、道路交通事故による死者や重傷者を撲滅することを目的として2012年10月に発行された国際規格です。

ISO 9001(品質)や14001(環境)と同様にPDCAサイクルに従って適切な道路交通安全マネジメント体制を確立、実施、維持、改善するために組織に必要とされる要求事項を明文化しています。



ナスバとISO 39001

ナスバは、我が国における道路交通に関わる幅広い関係者からなる国内審議委員会を設置し、その事務局として、ISO 39001の国内での運用の要の役割を担うとともに、国際審議委員会との窓口を務めています。



ISO 39001 の適用範囲

業種・規模を問わず、道路交通に関連する幅広い組織で導入することができます。



ISO 39001規格の構成

ISO 39001は、まえがき、序文にはじまり、1章から10章で構成されており、認証を目指す組織は、この国際規格に基づきRTSマネジメントシステムを構築することが求められます。

※RTS: Road Traffic Safety

【PLAN】

●組織の状況

組織は、事業の目的に関連して道路交通安全を実現するために取り組むべき課題を洗い出すと同時に、顧客、荷主、行政機関等のニーズを決定します。こうした組織の現状把握を行った上で道路交通安全マネジメントシステムの適用範囲を決定します。

●リーダーシップ

道路交通安全を実現するために経営トップの関与は不可欠です。経営トップは、安全に対する強い思いを方針として示し、道路交通安全マネジメントシステムを運用していく上で必要な責任者や担当者を指名し、彼らに役割、責任及び権限を与えます。

●計画

組織は、普段の活動の中で道路交通安全に係るリスクとそれが生じる機会を洗い出し、それらに対する対策を考えます。本規格ではリスクへの対策を考える上でのカタログと言えるRTSパフォーマンスファクターが示されており、それらを活用し、リスクと対策に優先順位をつけて目標、詳細目標を定め、取組計画を策定します。

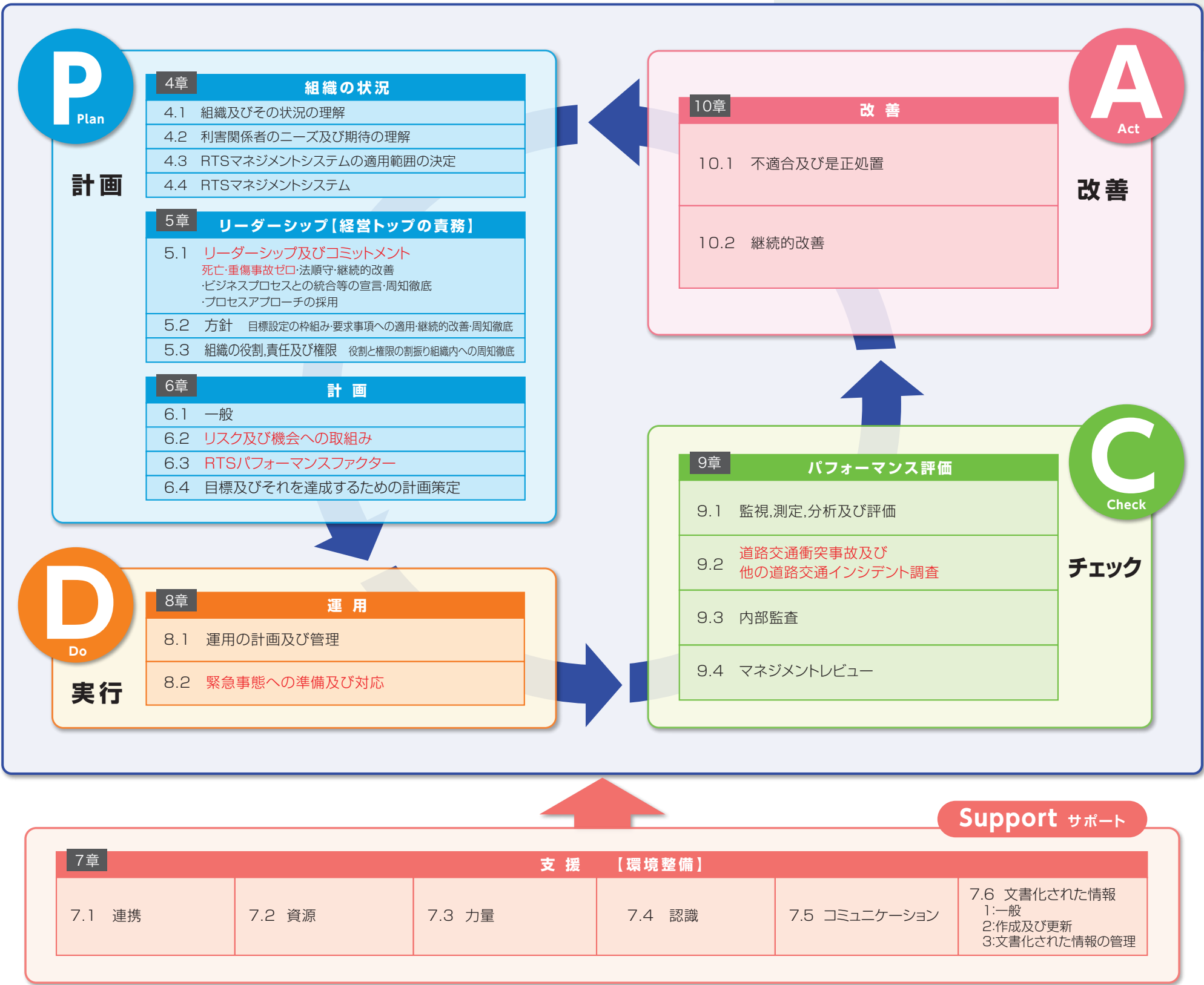
【DO】

●運用の計画及び管理

組織は、PLANで策定した取組計画を実施します。庸車等の外部委託したプロセスについても適切に管理します。

●緊急事態への準備及び対応

救急車が119番通報を受けて現場に到着するまでの時間は、全国平均で約8分です。救急車が到着するまでの間に応急手当をすることで被害者の影響を緩和することができる場合があります。緊急連絡網の整備や二次被害の防止に加えて、応急手当等への準備も重要なポイントです。



【ACT】改善

●不適合及び是正処置

組織は、自らが決めたことが守られていない、重大なルール違反があるなど、要求事項を満たしていない場合には、原因を究明し、その原因を取り除くことにより、同じようなことが再発しないようにします。

●継続的改善

組織は、道路交通安全を向上させるために、道路交通安全マネジメントシステムを繰り返し改善する活動(PDCA)を行います。

【CHECK】

●監視、測定、分析及び評価

組織は、取組計画の実施状況を把握して、取組の効果を評価します。

●交通事故及びヒヤリハット情報の調査

この活動は、事故防止対策のネタの宝庫です。交通事故及びヒヤリハット情報を収集し、分類・整理し、根本にある原因を把握し、対策を実施して、交通事故の再発防止や未然防止につなげます。

●内部監査・マネジメントレビュー

組織は、内部監査を実施し、道路交通安全マネジメントシステムの活動状況が計画通り実施され効果をあげているか確認します。経営トップは、マネジメントレビューを実施し、内部監査の報告を含めた様々な情報を基に道路交通安全マネジメントシステムの効果を確認し、継続的改善に必要な事項を適切に指示します。

【SUPPORT】

取組計画を実施していく上で、それを支援する体制の整備が必要です。組織は、人、物、カネ、情報などの資源を活用し、社内体制を整備し、社内及び社外の利害関係者と連携し、情報伝達及びコミュニケーションを図るなどして道路交通安全に取り組みます。組織は、社員に対して教育・訓練を行い、運転技術や安全意識の向上に努めます。



ISO 39001の効果

ISO 39001の認証を取得することにより組織は以下の効果が得られます。

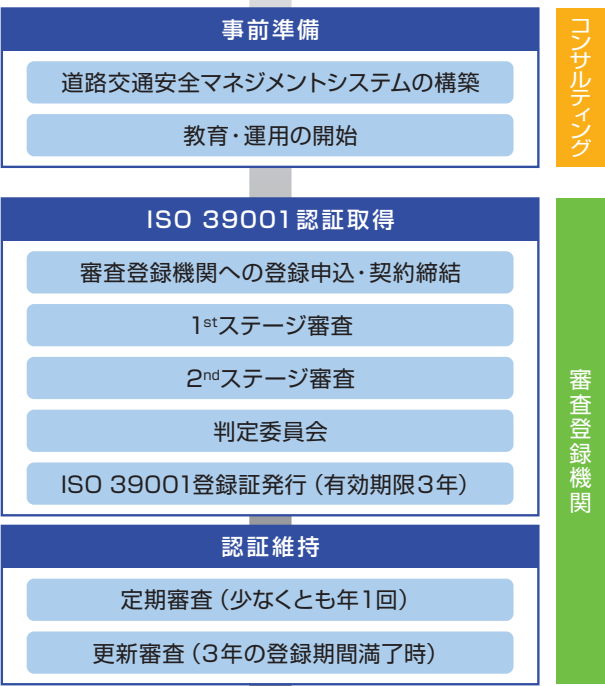
業 態	効 果
自動車運送事業 (緑ナンバー)	これまでも安全マネマネジメントの向上に取り組んできましたが、ISO 39001の導入により徹底したPDCAサイクルが構築されることによって、既存の取り組みの体系化や全社一丸となって取り組むという安全意識の向上が期待できます。
自家用自動車を行う 一般企業 (白ナンバー)	運行されている自動車の台数の大部分を占める自家用自動車には、これまで本格的な安全マネジメントのツールがありませんでした。CSR(企業の社会的責任)活動の一環として、自家用自動車を行う企業において、ISO 39001を用いた実効ある安全対策が進めば、当該企業のみならず、道路上の自動車全体の安全の底上げが期待できます。
その他の道路交通に 関係する企業 (例:インフラ管理会社、 駐車場事業者)	道路等のインフラの整備・改良や駐車場における安全対策などは、隠れた事故防止の重要な分野です。 ISO 39001の導入により、これらの分野においても、安全マネジメントの仕組みの下、より実効ある安全対策が進めば、社会全体の事故の削減への貢献が期待できます。

↓
事故の削減、費用の節約(補償金、修理費、保険料)
企業の社会的地位の維持、持続的なビジネスへの貢献

ISO 39001の認証取得・維持の流れ

ISOの認証を取得するに当たっては、ISOの専門機関(審査登録機関)による経営トップへのインタビューや現場チェックによって、組織において、規格が要求しているマネジメントシステムが構築されているかの確認が行われます(登録審査)。この審査をクリアした組織には、3年間有効な登録証が交付され、ISOの認証が取得できたことになります。ただし、ISOは、取組の継続性が求められるため、その後も審査登録機関による定期審査が毎年行われ、さらに4年目には、登録証の更新が必要となります(更新審査)。

組織は、登録審査に先だって、あらかじめISO規格に適合した体制をきっちりと構築している必要があります(事前準備)。これを組織が独力で行うのは大変であるため、そのお手伝いをするのがISOコンサルティングです。道路交通分野で豊富な経験を有するナスバは、ISO 39001のコンサルティングでも、最も信頼されるサービスを提供しています。



ISO 39001認証取得支援コンサルティングサービスについて

ナスバはこれまでの国内審議委員会事務局で培った経験を活かし、ISO 39001構築支援コンサルティングを実施しています。コンサルティングでは、本規格で特に重要とされているリスク分析に重点をおき、組織が抱える道路交通安全に関するリスクの洗い出しから、それらの対応策の検討及び重点取組項目の決定に至るまでの作業及びそれらを支える仕組みを継続的に改善する方法についてアドバイスします。

また、ナスバでは組織のニーズに合わせて、必要部分に絞って行うパーシャルコンサルティングも(既に他のISO取得企業様へはISO 39001独自の要求事項についてアドバイスする)実施しています。費用を抑えて効率的に認証を取得したいとお考えの組織におすすめします。

